



週報

2016～2017 年度 RI 会長 ジョン・ジャーム
 RI のテーマ 『人類に奉仕するロータリー』
 地区のテーマ 『知恵と元気を』 ガバナー 前嶋修身

国際ロータリー
 第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
 〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
 会長 佐藤圭司 副会長 小島美恵子 幹事 益子伸明

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
 所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1105 回(10 月 11 日)例会の記録

国際ロータリー第 2570 地区 前嶋修身 ガバナー公式訪問



2015 年 10 月 20 日 於：狭山東武サロン

- 点 鐘 佐藤圭司会長
- 合 唱 国歌斉唱 奉仕の理想
- 第 2 副 SAA 松浦君 宮岡君
- ビジター 国際ロータリー第 2570 地区
 ガバナー 前嶋修身様
 第 3 G ガバナー補佐
 野本俊光様
 地区副幹事 福島良浩様



※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
-----	------	-----	------

34名	29名	84.37%	78.78%
-----	-----	--------	--------

会長の時間

佐藤圭司 会長

国際ロータリー第2570地区 前嶋修身ガバナー、ようこそおいでくださいました。今日はガバナー補佐公式訪問ということで、一日ご指導の程、宜しくお願ひ致します。また、前回に続きましてお越しいただいております第3G野本俊光ガバナー補佐、そして地区副幹事 福島良浩様、ご苦勞様でございます。よろしくお願ひ致します。

先ほど入会三年未満の会員の方とガバナーとで懇談会がありました。今年度の狭山中央RCの目標は「増強問題」はもちろんであります。自分達の拠点とする地域を見つめなおし「地域に根付いたロータリー」をテーマにしたいと思っております。

そこで本日の会長の時間は、今年度の7月にロータリーがスタートしてから全体の1/3が終わりましたので、今後のおさらいとしてこれまでの活動を振り返ってみたいと思います。

今年度のRI会長ジョン・ジャーム氏のテーマは『人類に奉仕するロータリー』となりました。「私たちが目指すのは単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによるよき活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。」と述べられています。

また、国際ロータリー第2570地区ガバナー前嶋修身氏の掲げられたテーマは『知恵と元気』とされ、このようなメッセージを発信しております。「残念ながら第2570地区の会員数の減少は止まっています。会員の皆様には悪循環に陥る前に現状を理解していただき、知恵を持ち寄り新入会員増と退会員減に取り組んでいただき、元気なクラブを地区全体で守りましょう。」また、「ロータリーは広くよいことをしているのに、現実の問題として地域の人々にロータリーがどの程度認知されているのか、肌寒いところがあります。よいことをすることは目立ってもいいと思うのです」と述べられています。



それを受けて、今年度の狭山中央RCでは、自分達の拠点とする地域を見つめ直し『地域に根付いたロータリー』をテーマとしました。それを実現するには、まずは狭山の人々にロータリーを知っていただく必要があります。そこで、狭山で頑張っている団体の活動を支援し交流を深めることで、地域の人々にロータリーの奉仕精神に触れてもらうのが一番のきっかけになると考えました。

そしてさっそく取り組んだのが、狭山市で8月に行われる七夕祭りです。今年、私達は初めて狭山中央RCとして参加致しました。執行部も会長幹事の少数精鋭2名で2日間行い、何があっても即対応できるよう、フルシフトで頑張りました。歴史のある七夕祭りへの参加は昔からのしきたりが多々あり戸惑いもありましたが、町内会長を始め、商工会、市役所、関係省庁の温かい応援のおかげでなんとか達成することができました。もう一つの大きなきっかけは、我がクラブの過去会長である小澤会員の私有地であります。七夕通りのど真ん中にある場所を快くご提供いただいた事です。この事がなければ今回の七夕祭りの参加はあり得ませんでした。そして、我々が今年度応援する事になりました二つのボランティア団体(さやマーチ、こども食堂)に売り上げを寄付する事が出来ました。非常に手ごたえを感じ、今後も継続していきたい事業と思っておりますが、会員の皆様と理事会メンバーとのご意見を重ねながら考えていきたいと思っております。

残り2/3がありますが、これからは皆様のご協力なしでは成し得ませんので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

幹事報告

益子幹事

- ・RI日本事務局より『国際大会ニュース』
- ・地区より『地区大会表彰一覧』
- ◇30年で出席率100%の会員
- ◇11月6日までに満90歳以上になれる会員
- ・受贈会報 所沢RC 飯能RC
- ・回覧物 AARニュース 10月号

「ガバナー卓話」・・・・・・・・・・
国際ロータリー第2570地区

ガバナー 前嶋修身様



皆様こんにちは。ガバナーの前嶋でございます。入会して32年目になります。

先程、美女軍団の方々にニコニコボックスの大変有難い投稿を頂き有難うございます。

この地区と熊谷の方では交通の便があまり良くないので、地域的にも経済的にも交流が少ないかと思いますが、関越道のお蔭でさほど時間はかかりませんので、11月の地区大会へは是非沢山の方々にお出で頂きたいと思っております。

2570地区は51クラブありまして、今回は37回目のガバナー公式訪問となります。ガバナーを務めていて何としても辛いのはウイークデーが殆ど取られて、尚且つ、往復するのに2~3時間かかるので、殆ど一日が潰れてしまう事です。仕事がありますので4月の半ばから辛い思いをしておりますが、お役目であり責任もありますので、しっかりと努めたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

狭山との繋がり、狭山ケーブルTVの清水武信さんとは長いお付き合いであり、是非狭山ケーブルTVをうまく利用して地域への発信を宜しくお願いしたいと思います。

こちらに来る度に非常に混乱するのは、狭山、入間、所沢の区別がつかない事です。学生時代狭山湖に来たことがありますが、先日、新狭山RCの訪問時に「狭山湖は所沢です」と言われ、狭山と入間では入間基地の殆どは狭山で、狭山茶の生産が入間でも盛んであり、狭山市には入間川が流れているという事でまた混乱してしまいました。

今日こちらに伺った目的は二つあります。それはジョン・ジャームRI会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」と地区のテーマ「知恵と元気を」の二つについてお話しをするためです。

今年の1月にアメリカのサンディエゴに行って参りまし

た。1月18日と19日にRIのテーマが発表され“Rotary Serving Humanity”というのは大変簡潔で良いテーマだと思いました。

今年の1月にカリフォルニア、サンディエゴの国際会議でテーマの発表の後に続けてメッセージが述べられました。ジョン・ジャームさんは、ジャズのお好きな方のご存知かと思いますがテネシー州のかたで、図体がでかくてあまり笑いません。だから時々笑うととても可愛い人です。地域でも大変な名士で色々と表彰されているようです。そこで仰っていたのは、「ロータリーの会員は誰でもいいという訳ではなく、地区のリーダーとなるような方を会員として迎えてほしい」というメッセージでした。

「毎週、世界34,000以上のクラブのロータリアンが、語らい、笑い、アイデアを分かち合うために集います。しかし、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち“奉仕”のためです。」

これは本年度のテーマをよく表しているセンテンスがあります。ロータリーのオブジェクトは“奉仕”です。それを忘れないでくださいと言っています。

私は4年前に鈴木さんがガバナーの時にガバナー補佐を拝命致しました。自分では長い間ロータリーライフを楽しんできたけれども、真剣にロータリーについて考えたことはあったかという思いから、この機会に徹底的に疑問を調べてみようと思致しました。

“クラブ”とは会員制の集まりで、定期的に同じ目的、趣味、興味を持った人たちが集まる集団です。根底はどんな目的があろうとも会員間の交流を楽しもうという事です。18世紀にヨーロッパで発生し、産業革命後、イギリス、またはドイツで生まれたという説もあります。日本には明治時代に伝わって、それが日本人の性格に合ったとみえて色んなクラブが広がりました。

クラブは成立過程に応じてその性格は4つに分類出来ます。1つは社交を目的にした社交クラブ、2つは職能団体、3つ目は野外活動を目的として集まったクラブ、4つ目は奉仕を目的として同じ志を持った仲間が集まったクラブ、この4つ目にロータリークラブやライオンズが入っていると思っております。クラブの根源たる目的が欧米では非常に行き届いております。日本人は生真面目なので親睦、交流がひとつ横になって目的が目的化していると言われております。また日本のロータリークラブは比較的奉仕のバランスがとれて運営されてお

り、本来のクラブに近いと言われていました。私は楽しくなければクラブではない、奉仕の志がなければRCではないと考えています。

地区テーマである「知恵と元気を」は、是非会員の皆様の知恵と元気を貸していただいて、結果として 2570 地区を活性化するという思いで掲げたものです。昨年 11 月に急にエレクトに決まってから、とにかく時間がなく追いまわられ今までやってきました。もうちょっとロータリークラブらしい高尚なテーマにしたいと思いましたが、まずはクラブの活性化をと考えました。

2570 地区の今年 7 月 1 日の会員数は 1,606 名です。昨年が 1,650 名くらいで、1 年で約 50 名程減らし、ずっと減少しています。日本のロータリアンが一番多かったのはバブル期で 13 万人近くでしたが、崩壊後、リーマンショックもあって現在は 8 万 8,000 人程です。4~5 年前に底打ちをして、各地区は少しずつ増えています。その状況の中で 2570 地区はまだ減らしています。東日本大震災のあった東北ロータリークラブも増えています。構成員が減ると何をやるにも元気がなくなります。埼玉は人口も経済も伸びている極めて稀な地域であるにも拘らず、2570 地区だけが減少しているのは残念です。

テーマを考えると「知恵と元気」があれば必ず活性化出来ると思えました。是非、そういう思いで覚えておいていただければ有難いです。

重点目標として、項目の第 1 番目は会員増強で、RI が毎年出している重点目標は必ず 1 番目が会員増強ですが、RI が言っている会員増強とはもうちょっと違う意味があるという事を分かっていたいただければ有難いです。

2 番目の方針としては、表は増強、裏は退会防止です。人間は一年一年、歳を取りますし、放っておけばどんどん退会していきます。2570 地区の会員減少の一番の原因は十数名のクラブが増えた事だと思っています。

そこで「クラブ例会の充実と出席率の向上」を掲げました。名称を“出席向上委員会”、“出席促進委員会”、“出席推奨委員会”等、殆どのクラブに変えて頂きました。ただ単に出席率の発表だけではなく、出席を上げようとする意志を持つような名称にして頂きたいと、こういうお願いを致しました。そこにも是非、「知恵と元気」を頂いて考えてくださると有難いと思えます。奉仕活

動そのものを例会にしても構いません。地区には委員会があってそこから出前を取っていただくのも結構です。クラブで顔を合わせる機会を多く持つと退会が減ります。楽しい例会、出席率の向上という事を 2 番目の方針と致しました。

3 番目の重点方針は「認知度の向上、ロータリー公共イメージの向上」、これらを優しくて「地域の人々にロータリーを知って頂こう」ということをお願いしております。ロータリーの奉仕活動はポリオ撲滅を含め、殆ど知られておりません。ですから、先程会長さんの挨拶にもありましたように、私たちロータリーのやっている事を地区のメディアを使って遠慮なく PR してください。

「ロータリーは陰徳で良いのではないかと、要するに一人一人が徳を積んで奉仕の精神で色々な活動をしていればそれでいいんじゃないでしょうか、PR はどうなんでしょう？」と秩父ロータリークラブの方から問われました。ロータリアンの心情としてはそれでいいと思えます。私の若いころからの座右の銘としている「あれよ見よ 深山の桜 咲きにけり 真心尽くせ 人知らずとも」という詠み人知らずの歌があります。ロータリーに入会して勉強した時に、これはあのロータリアンの心と一緒にだなぁと思いました。深い山の中で誰にも知られず山桜がいっぱい咲いている。あの山桜のように誰にも知られずとも真心を尽くそうと。陰徳ですよ。

ロータリークラブとして、地区として、あるいは RI としてロータリーはこういった活動をしているんだという事は是非 PR してくださいというお話をしました。ロータリーに入る方が最近ちょっと少ないのは知られていないからだと思っています。是非、良い事をしている事は PR してください。

4 番目は「ロータリー財団 100 周年」を記念して財団を知る行事を考えております。ロータリーの理解を深める行事を通して寄付を促進したいと考えております。財団への寄付には全部目的があります。

最後に一つお願いがあります。11 月 5 日、6 日に熊谷で地区大会が開かれます。特別公演は田中作治さんで、質疑応答の形式になるので、狭山中央ロータリークラブさんからも一人はご質問してください。田中さんにはその場で答えて頂きます。そのような時間を設けたいと思います。色々な意味で今後共々協力ください。

本日は貴重な卓話の時間を頂きまして有難うございま

した。

・・・クラブ協議会・・・

クラブ管理運営委員長

親睦委員長 松浦会員

クラブ管理運営では「地域に根付いたロータリー」をテーマに「地域の方々にロータリーの奉仕の精神に触れ理解をしてもらい、皆様に知恵を頂いて元気で活気のある活動をする」を目標と致します。11月15日～16日には、1泊2日で三浦半島を予定しております。そして12月にはクリスマス、忘年会、4月には親睦ゴルフ、お花見、家族同伴夜間例会を予定しております。

出席向上委員長 菊田会員

本年度の目標“出席率の向上”は会員の皆様の相互のコミュニケーションづくりの第一歩です。例会開催日には優先して皆様ご出席頂けるよう、お声掛けをして頂きたいと思っております。また例会は会員皆様がお互いを知りあう最良の場所です。出席率の低い会員さんに出席を慣習化して頂けるよう、まず自身の出席を実践していきたいと思っております。

会報委員長 高田会員

会報は週報です。さらっと見ている方もいると思いますが、昔は印刷会社に依頼しておりましたが、今は全て事務局が作っております。さらっとではなく、必ず会長の時間もじっくり見て下さい。

プログラム委員長 小林会員

戸惑いながら致しておりますが、皆様のご協力を頂いて、本年度は大体12月まで決まっております。来年の1月からのこともありますので、皆様宜しくお願い致します。方針ですが、佐藤会長の方針「地域に根付いたロータリー」を目指すことを念頭に、皆様楽しく、そして充実したプログラムになるよう努めてまいります。是非、皆様の知恵や力を貸して頂きたいと思っております。そして皆様の力をお借りしながら、実りある1年になるよう努めてまいります。

ゴルフ副委員長 沼崎会員

吉川委員長が体調を崩しておりますので、代行をさせ

て頂きたいと思っております。来年の春、恐らく桜満開の頃にゴルフ会になるだろうと思っておりますので、是非振るって参加をして頂きたいと思っております。

SAA 清水会員

エラーだらけですが、佐藤会長のテーマ「地域に根付いたロータリー」を目指し、全会員の皆様に明るく実感のある例会が運営されるように努めてはおります。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

公共イメージ委員長 浜野会員

大変な間違いを致しまして、2行目に「当クラブでは前年度2名の純増」と書いておりますが、1名のマイナスでした。希望的な観測でこのように勘違いをしてしまい、大変申し訳ありません。公共イメージは増強と大変密な関係がございます。フリーマーケットの活動や入間川の七夕祭りを通し、地域と密着してロータリーの活動を皆様に知って頂けるように、また狭山ケーブルテレビ、市の広報等を利用して広報活動を行っていきたいと考えております。

会員増強委員長 稲見会員

ガバナーの今年のメッセージ、地区の重点方針の中にもありますが「会員を増やそう」、そして当クラブ佐藤会長は増強の地区研修の時に純増5名を目指すということを発表致しました。まだ私共今年度は0名なのですが、これからこの目標に向かって邁進していきたいと思っております。8月の第1週のクラブ協議会で、皆で話し合いを致しました。そして来週には炉辺会議を是非開いて、戦略的に声掛けを一生懸命やっていき、年度末には会長の目標とするところに持っていかれたらと考えております。

職業分類副委員長 高田会員

職業分類委員長は田中さんでございましたが、お亡くなりになりましたので、私が副として、亡き田中さんの意志をここで発表させていただきます。

ロータリークラブ入会には職業分類が緩和され、会員の身分も簡潔化されました。しかしながら職業分類が偏らないように、できるだけ未充填の職業の会員発展に努力しようと会員増強委員会に提案をし、ご協力頂きたいと、そういったお話でした。

R 情報・雑誌委員長 東会員

ロータリーの友を通じて、皆様にロータリークラブの理解と関心を高めて頂くことを目的に活動を行っておりますが、皆様ご存知の通りロータリーの友、最近 7 月からサイズも変わって今までよりも手に取りやすく、また内容も以前より親しみやすいものになっているかと思えます。ロータリーの友は 1953 年 1 月から創刊で、今年で 63 年の歴史があるそうです。当委員会としては記事の紹介だけにとどまらず、この狭山中央ロータリークラブからも投稿、寄稿がなされるように思っております。ここではかつて小澤パスト会長が寄稿されていて、英訳されたものが世界のロータリーにも発表された経緯があるそうです。これからもそうした方が次々とできるように、頑張っていきたいと思っております。

クラブ研修リーダー 江原会員

昨年度、私が会長職を仰せつかったことは、私にとって大変貴重で有意義な出来事だったと自覚しております。今年度クラブ研修リーダーの役を務めていきます上で、会員皆様のニーズでもあり、またすべきことは何であるかということから、佐藤年度も引き続きその目的であります会員の減少に歯止めをかけるということに努めていく所存でございます。

前嶋ガバナーも地区重点方針の第一番手に「会員を増やそう」と謳っておりますし、そして先週野本ガバナー補佐にお見え頂いた時のお話の中でも増強に関するお話がございました。当クラブと致しましても、クラブ全体の問題として、更なる運営の充実を図るためにも、会員一人一人が過去の経験を活かしながら、方法や対策を再検討して本来のロータリーの精神、行動の原点を再確認することにより会員増強や退会防止につなげていきたいと考えております。

奉仕プロジェクト委員長 職業奉仕委員長 田端会員

ロータリー団体の奉仕活動は、個人の奉仕の上に成り立つという発想から、奉仕プロジェクト委員会は社会奉仕委員会、職業奉仕委員会、そして国際奉仕委員会とで構成されるものと考えております。より良いクラブ活動を行うためには、奉仕活動の大切なロータリー活動の一部であるプロジェクトの成功は、達成感や結束が生まれ、クラブの発展になると考えております。

なかなか先の見えない日本ですが、今年度の目標にもあります知恵を出しあう、個々の知恵を出しあうことが一番良いのではないかと考えております。

職業奉仕委員会としては、ロータリークラブは異業種の方たちの交流の場です。先ほどもガバナーから様々な事を学ぶことができました。やはり皆様が交流を図っていくことが一番だと思っております。この機会に皆様と仲良く、価値ある人生を切り開くことが一番だと、私はこの会に入って感じているところでございます。職業奉仕委員会の活動としましては、会員企業の他の企業訪問、そして経営者の実践卓話を聴く事によって学べるのではないかと考えております。

社会奉仕委員長 佐々木会員

社会奉仕とは、ロータリーにとって肝となる委員会になるのではないかと考えておりますので、会長から声をかけて頂いた時には非常に緊張し、実際入会してまだ間もない私になって良いのかという心配もありました。しかし皆様にご協力頂き、なんとかここまでやってきております。

今週の土曜日、フリーマーケットがございます。本当に皆様には色々な部分でお手伝い頂き、しかもお願いした方皆様快く引き受けて下さり、この場を借りまして改めて御礼を申し上げます。土曜日は天気も良さそうですので、皆様張り切ってたくさん売って、そして寄付ができればと思います。

今年の寄付先は、さやマーチとひまわり倶楽部ということで、子供食堂を実践している所と、出産後の方たちへ支援をしている所へ寄付をすることになっております。このフリーマーケットの売り上げも寄付の対象となっておりますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

また、この場で言うのは良くないかもしれませんが、品物はまだまだ受け付けておりますので、事務局の方に持っていか、或いは当日フリーマーケットの場所に直接持って来て頂いても結構です。昨年雨で中止になりましたので品物はあるのですが、昨年の品物の山と今年の山を見ると、昨年の半分くらいしかありません。できればもっと多くの物が集まり、たくさんの寄付ができればと思っておりますので、宜しくお願い致します。

国際奉仕副委員長 栗原(憲)会員

本日委員長の石川さんがお休みをしておりますので、私が担当させていただきます。

今ロータリーは地球温暖化問題に力を入れております。ネパールの識字率向上に対する当クラブの取り組み、またモンゴル国におけるモンゴル干ばつ防止プロジェクトを立ち上げ、モンゴル国ウランバートルより70km地点のバヤンチャンド村にての植樹等、日々変わる国際情勢を見極めて、国際社会に貢献できるように努力していきたいと思っております。

青少年委員長 沼崎会員

ロータリーの奉仕活動の一環として、青少年の健全育成に対する奉仕の仕事を行うことを目的としております。食料、就学困難児に対するひまわり倶楽部への援助、出産間もないお母さん方に対する援助、これはまだ青少年としては小さな青少年ですが、将来を思えば大きな奉仕に繋がるのではないかという気持ちから、この1年間奉仕をしていきたいと考えております。

R財団委員長 古谷会員

昨年まで3年間、マッチング・グラント方式のモンゴル干ばつ防止プロジェクトということで、事業を計画、実行し、一応昨年度にてその事業は終了致しました。ガバナーのお話の中の重点項目「公共イメージの認知度の向上」、また会長の「地域に根付いたロータリー」ということを今年度は鑑み、地域の子育て支援、或いは産後ケア支援プロジェクトへの支援を主とし、地区補助金の申請も致しました。振り込みの確認があったということで、このような補助金をその支援の目標に使っていきたいと考えております。

人口減が問題となっている我が国の現状を鑑み、当市に於いても人口減に歯止めをかけられるような支援方法を考えたいと思っております。狭山市に於いての振興計画によりますと、現在15万2~3千位あるでしょうが、2020年頃には14万7千位になり、2030年頃には10万を切るのではないかというお話があるようで、もっと増やしていかなければいけないなと思っております。また格差社会で、外国の貧困の子供がたくさんいるわけですが、日本の中にもたくさんおります。今テレビ等でも子供食堂等やっており、少しでもロータリーとして、公共イメージアップと同時に支援できればと考えております。

米山記念奨学会副委員長 古谷会員

委員長の小室さんが所用があるということで、私が説明させていただきます。

本事業の目的は、国際平和と国際理解の推進であり、日本で学ぶ留学生を支援することにより、日本人と日本文化を正しく理解し、将来日本と世界を結ぶ架け橋として、国際社会で活躍する人材を育てることです。

- 1.地区の個人平均目標は15,000円と設定させて頂き、引続き会員の皆様のご支援をお願い致します。
- 2.特別寄付金、米山功労者3名を予定しております。

前嶋ガバナー総評

実は今日車で来たのですが、まさか狭山神社の中に会館があるとは全く知らなかったもので、入り口がわからず少しウロウロと致しました。そして駐車場に停めて会場に来る間に神社の前を通りますので、折角来たのだからお参りをしようと、きちんとお参りをまいりました。先程午前中の懇談会の時に会長に「なんという神社ですか。狭山神社ですか？」と聞いた所、「狭山八幡神社です」ということで、八幡神社の話になりました。私の生まれは大分です。大分には宇佐神宮という所がございまして、宇佐神宮が全国の八幡神社の元締めなのです。ついでの話ですが、日本には八幡系、稲荷系等色々な神社がございまして、一番多いのは八幡神社です。その一つが狭山にあるということを知らなかったのですが、きちんとお参りをし、身を清めてまいりましたので、ご報告を致します。

地区において、田中八束さんと益子さんに社会奉仕の部門でご協力頂いております。ありがとうございます。そして今日の卓話の時間、ありがとうございました。

実はRLI方式でやられてばかりおりましたので、今日は久しぶりに昔の方法での協議会に参加させて頂き、皆さんのお話を聞いて大変勉強になりました。RLI方式の面白さは、当然のことながら会員の皆様の本音がどんどん出てくるということです。まとめなくて良く、またその場で色々質問することができますので、これは大変楽しみに各クラブを回っております。

各クラブのお話を少しさせて頂きませんが、クラブ協議会で一番テーマとして多かったのは、「ロータリーの魅

力とは」ということです。そして必ずどのクラブも出た答えは、異業種との交流でした。ロータリーの異業種交流とは、やはり特別です。そしてもう一つの魅力が、年代間の交流というものです。年代間の交流と異業種の交流が上手く混ざり合っており、一言で言うと、経験豊富な方があまり威張らないということです。

他の業界の団体は、やはりキャリアを積んだ年齢の上の人が何となく威張っているような、話しづらい感じがあるのですが、ロータリーはそのようなことが少ないと思います。私の経験でも年配の方から有り難いアドバイスを頂いたことが随分とあります。

各クラブを回っていると、ロータリーの魅力として異業種との交流と年代間の交流は必ず挙げられます。そのため、ロータリーの会員を増やそうという一つは、色々な年代の方を増やして下さいということにも通じるのです。

先ほど私が、この地区の会員数が減っている一番の理由は十数名のクラブが多いと申しました。十数名のクラブは皆仲が良いのです。その理由は、どのクラブもかつては 50 名～70 名位いらっしやったのですが、それが今十数名になっている、残っている方は大体同世代の方が多く、皆仲が良いのです。そうすると、若い方から年配の方までいらっしやらないということになり、ロータリーの魅力がそこで少なくなるのです。またどうしても異業種の方が少ないので、そこでまた魅力がなくなります。

私がロータリアンを是非増やして下さいという一つの意味はそこにもあり、是非色々な年代の方、業種の方に参加、入会して頂き、ロータリアンの楽しい交流があれば良いと思っております。活発にされているクラブにはこの 2 つが必ずございます。

また魅力のもう一つ、これも時々出てくるのですが、その気になれば世界とダイレクトに結び付いているということです。奉仕活動は、本来日本の団体で、奉仕が世界の、例えばアフリカやインドで井戸を掘る、ネパールに学校を作るといったことは、他の団体ではほとんどありません。ロータリークラブの奉仕活動とは、ダイレクトで世界と結び付いている、そうした魅力を私は挙げたいと思います。

番外の魅力として、バッチの威力、魅力というよりも威力なのですが、特に海外に旅行した時に、航空会社やホテルのカウンターでバッチを付けていたために大

変助かったという話は割合多く聞きます。要するにロータリアンのバッチを付けていくと、それだけで信用してくれるということです。そうしたバッチの威力がございいます。日本の中でもバッチを付けている、それだけで仲良くなるということは割合とございいます。本当の信用というのはそれからのことですが、やはりロータリアンの信用というものはバッチについているということだと思います。こうしたロータリーの魅力というものが各クラブから出てきました。

そして後は人数がどれくらいか、例えば熊谷ロータリークラブが 92 名、川越ロータリークラブが 93 名、少ない所では児玉クラブ 3 名、和光クラブ 7 名、そして十数名のクラブが割合と多いです。私は多いから良い、少ないから悪いといったことはないと思います。3 名の所も、7 名の所も非常に仲良くやっております。しかし先程からお話しているクラブとしての魅力、年代を越えた魅力、異業種間交流の魅力、そして将来に対してということがありますので、やはり増やしていかなければ必ずどこかで減ってしまうと思います。そうしたことを考えますと、これは私の個人的な意見ですが、30 名位がちょうど分岐点かと思っております。30 名で良いと思っていたらあつという間に 20 名になりますし、20 名になるとなかなか増えていきません。残った方は割合と同年代で仲が良いことが多いですから、外から新しく入る人が相当な努力をしなければなりません。30 名おりますと、会員さんがその気になると割合と増えてまいります。放っておくと、毎年歳をとっていきますし、色々な事情で辞める方もいらっしやり、減っていきます。45 名～55 名位、50 名前後のところは、クラブとして一番運営が活発で、ちょうど経済的にも上手く回っているという印象を私は受けております。

私の熊谷ロータリークラブは 92 名です。60 名を超すと、名前と顔が一致しなくなってきます。これはクラブとして良いのかと、個人的には思っております。やはりクラブの魅力は会員の交流ですから、知らない人がいるということはクラブとして良いのかという反省がございいます。しかし日本では京都クラブが 200 人、東京クラブはもっといるということです。東京クラブは、今年で米山梅吉さんが創って 100 周年になります。財団の 100 周年でもあり、日本のロータリークラブ発祥、創設 100 周年となるわけです。あれだけ多いと、それはそれなりにステータスはありますが、クラブとしての交流はどうなの

かという思いがあります。多いということは色々な面で良いこともあるけれど、そうした面でのデメリットがあると思います。熊谷クラブは 92 名ですから、経済的には余裕があり、旅行も前年度は出雲の方に 2 泊、北海道 2 泊と、割と良い旅行に行くことができます。昼休みの食事でも大体 5 種類くらい出て、先着順に選択ができるのですが、うな重、ちらし寿司、蕎麦、かつ丼等、時にはそこにカレーの出前もあります。そうした良い所もありますが、全体としてのまとまりから言いますと、当地区で私が見た範囲ですが、50 名前後のまとまりがよく、活発だという印象でした。狭山中央さんもそうした意味では活発で良いなという印象を受けました。もう少し人数が増えるともっと良いなと思います。

皆様の今日の発表ですが、出席向上委員会さんの中で慣習化を目指すというのがありました。私が入会した頃、30 数年前は出席がもの凄くうるさく、とにかくいつも走って例会へ行ったり、メイキャップをたくさんしたりといった記憶がございます。そして最後に行きつたのはやはり慣れです。毎週行かなければどうもムズムズするなという感じでしたが、これが一番かなと思っています。本年度の規定審議会で、皆様ご存知の通り、月 2 回以上に改められました。実際に当地区では月 2 回に決めたところもございます。月 3 回に決めたところもございます。私個人的には、クラブというのは交流あつてのクラブ、例会あつてのクラブですので、ガバナーとしての意見ですが、やはり 4 回、毎週の例会は是非続けて頂きたい、それでないと折角ロータリーに入ったのもったいないと思います。しかしあくまでも決めるのはクラブです。例会日、例会の回数、例会の方法、例会の会場もクラブで決めて下さいと、RI はそのような方向です。決めるのはクラブですが、何と言ってもクラブの原点は交流ですので、是非楽しい例会、意義ある例会をして頂ければ有り難いと思います。

会報について、事務局さんが作成されているとのことですが、ホームページでも見るのでしょようか？ ついでの話で申し訳ないのですが、地区も 7 月 1 日付で作っております。見れば地区内のことが全てわかるということと、RI と直結したものを作りました。私も時間がなく、これを作る時は相当大変でした。7 月 1 日付で作り、少しずつ良くなってきております。今までと違う所は、スマホでもタブレットでも見られるようになって

しておりますので、是非ご利用して頂きたいと思っております。

公共イメージでは広報活動のお話がありました。先程お話したように、ケーブルテレビさんには是非声をかけて利用して頂ければ有り難いと思っております。

会員増強ですが、現在は実績が上がっていないとのことでしたが、先程会長さんとも具体的なお話を致しました。そして職業分類のお話がありましたが、職業分類で具体的に一つずつ潰していくと、無い分野、いらっしやらない分野があるかと思ひます。そこを重点的にするのも良いのではないかと思ひます。

地区は 1606 名で始まり、現在 60 名ちょっとの純増がありました。7 月伺った時に入会式で 5 名の方にバッチを付けたところもございます。今のところ地区の方は進んでいるという状況です。

またロータリー情報ですが、一昨日山形県の地区大会に参りまして、そこでロータリーの友の編集長とお話をしました。現在土日はほとんど他の地区大会に出しております。そしてウィークデーが公式訪問ということで、全く休めない日が続いているのですが、その時にロータリーの友の編集長が言っておりました。11 月号に当地区のインターアクトについての記事が載るそうです。和光の佐藤さんの記事が割合と大きく載るということです。是非投稿して頂ければと思ひます。

ガバナー月信も、本年度は色々と変えてやっております。是非狭山中央クラブさんの外部に対する、今度のフリーマーケットでも結構です。また会長から 2 つの団体についてもアプローチをしているというお話も聞いておりますが、是非そうした記事をガバナー月信に載せて頂きたいのです。これは写真を 2 枚、500~800 字の記事を書いて頂いて、地区事務所或いは月信の最後のページの一番下にメールアドレスが載っておりますので、そこへ送って頂ければと思ひます。本年度はオールカラーで作っております。このオールカラーで作ることに色々と苦勞をました。当地区はとにかく会員が減っているので予算に大変苦勞しているのです。月信の予算も限られておりますので、その範囲でできるかどうかということ、当クラブに印刷屋さんがございますので、あまり無理を言つては悪いねと言いつつ、無理を言つて、本年度はオールカラーで作っております。狭山中央さんのフリーマーケットのように、外部と何かをしたときに記事にして頂き、どなたでも結構なのですが、でき

たら部署を決めて頂いて、その人に投稿して頂ければ載せますので、是非宜しくお願い致します。

フリーマーケットは継続事業で長い間行っているということでした。長く行っていると、だんだん皆様の興味が薄れていくということも、他のクラブではございます。出品が少し減ったということで心配になりましたが、やり方等を時々見直されると良いと思います。主旨として良いものは長く続けた方が良いと私は思うのですが、なかなか継続性ということは難しい部分がございますので、見直すところは見直して、継続するところは継続する、そして新しい事業として2つのお話がありました。良いと思ったことはまた取り組んで頂ければと思っております。

狭山の人口減のお話がありましたが、ホンダの影響もあるのではないのでしょうか？熊谷も実は減っておりますが、全国的にみるとまだ埼玉は恵まれております。しかし埼玉の中で増えている所、減っている所はございますので、是非知恵と元気で、まずクラブを活性化させて頂ければ有難いと思います。

協議会の締めということで、色々とお話させて頂きました。大変貴重な時間を頂いたわけですが、最後に、狭山中央クラブさんの益々のご発展、そして是非活性化して良いクラブにして頂ければ有り難いと思います。宜しくお願い致します。

本日はありがとうございました。

————— 佐藤会長 お礼の言葉 —————

今日はガバナーの公式訪問ということで、長い間皆様ご苦労様でした。そして野本ガバナー補佐と地区幹事の福島様、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

前嶋ガバナーと今日初めて直接お話をし、出迎えてからずっとお話を聞いていると、非常にソフトに、ずっと会話が入っていくのです。いきなり難しい話から入ってくるのかと思いましたが、神社のお話から入って、間の取り方と言いますか、非常に楽しく話す、引き出そうとする話術に、私も非常に勉強になりました。懐の広さと言いますか、安心を感じられました。本当にありがとうございました。

第3Gガバナー補佐 野本俊光様

お世話になります。

地区副幹事 福島良浩様 本日ガバナーに随行してまいりました。宜しくお願いします。

佐藤君 本日は第2570地区 前嶋修身ガバナー、第3Gガバナー補佐 野本俊光様、地区副幹事 福島良浩様ようこそお越し下さいました。一日宜しくご指導の程お願い致します。

益子君 前嶋ガバナー、野本ガバナー補佐、福島地区副幹事、ようこそいらっしゃいました。本日はご指導の程宜しくお願いします。

江原君 第2570地区第3Gガバナー 前嶋修身様、地区副幹事 福島良浩様、本日はようこそお出で下さいました。また第3Gガバナー補佐 野本俊光様、先週に続きお出で下さいまして有難うございます。皆様本日は当クラブの長所、短所をよく見て頂き、良キアドバイスを頂けます様、宜しくお願い申し上げます。

稲見君 第2570地区 前嶋修身ガバナーご指導宜しくお願いします。

小島君 第2570地区ガバナー 前嶋修身様、第3Gガバナー補佐 野本俊光様、地区副幹事 福島良浩様、ようこそお出で頂きました。ご指導宜しくお願い致します。

栗原(成)君 前嶋ガバナー様、公式訪問有難うございます。

沼崎君 前嶋ガバナー、私共狭山中央RCへようこそお出で下さいました。有難うございます。

小幡君 前嶋ガバナー様、ようこそ。当クラブへお出で頂き有難うございます。御指導宜しくお願いします。

清水君 お忙しい中、ガバナー公式訪問有難うございます。卓話、クラブ協議会、宜しくお願い致します。

狭山中央RC 美女軍団 第2570地区 前嶋修身ガバナー、第3Gガバナー補佐 野本俊光様、地区副幹事 福島良浩様、ようこそお越し下さいました。御指導宜しくお願い致します。

※ 次の例会

10月25日(火) 12:30~13:30

第2副SAA: 守屋会員 野口会員

会員卓話: 石川会員 松浦会員